



平成 30 年5月1日

各 位

上場会社名 広島電鉄株式会社
 代表者 代表取締役社長 椋田 昌夫
 (コード番号 9033)
 問合せ先 取締役 経営管理本部長
 岡田 茂
 (TEL 082-242-3542)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月9日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,310	△90	△150	860	28.36
今回修正予想(B)	40,252	△225	△222	855	28.22
増減額(B-A)	△57	△135	△72	△4	
増減率(%)	△0.1	—	—	△0.5	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	42,231	684	760	1,301	42.93

※ 当社は、平成 29 年9月1日付けで普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

修正の理由

平成30年3月期通期連結業績予想につきましては、建設業の受注が当初の見通しを上回ったものの、近隣商業施設との競争激化や己斐店(ひろでん会館)閉鎖に向けたテナントの退店などの影響を受けたストア店舗、平成29年7月に発生した「九州北部豪雨災害」や秋口、冬場の天候不順などにより利用者減少の影響を受けたサービスエリアなど流通業で厳しい状況が続いたため、売上高は前回予想並みとなる見込みではありますが、流通業の不振が響き、営業利益、経常利益ともに前回予想を下回る見込みであります。なお、中山間地域の路線バス維持に係る運行補助金が当初の見通しを上回り、親会社株主に帰属する当期純利益についてはほぼ前回予想並みとなる見込みであります。

以上の理由により、連結売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益において、平成30年3月期通期連結業績予想を修正いたします。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上